

被災地支援活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

「令和2年7月豪雨」の記録的な大雨は、九州地方を中心とした西日本から、東海地方にかけて、大規模な河川の氾濫や土砂崩れを発生させ、多数の人的被害、物的被害をもたらしています。

全国知事会は、7月8日に緊急広域災害対策本部を立ち上げ、国など関係機関と連携しながら、被災地の支援を進めております。

そうした中、7月8日から11日まで熊本県人吉市に派遣されていた応援職員が、新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

全国知事会としては、派遣前のPCR検査の実施をはじめ、支援活動に従事する際のマスク着用の徹底など、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期したうえで、引き続き、全都道府県が一丸となって支援活動を進めて参ります。

令和2年7月14日

緊急広域災害対策本部本部長（全国知事会会長） 飯泉 嘉門
同副本部長（全国知事会危機管理・防災特別委員長） 黒岩 祐治